

神奈川県 ゆーちゃんさん 女性  
父へ

結婚して富山県から神奈川にきてもう 32 年経ち両親に逢えるのは年に 1~2 回です。

ナボナとの出会いは私が住んでいる駅前にお店があることでした。

ある時に新聞折り込みに入った広告がきっかけとなりお店に初めて伺いました。

看板商品のナボナを買い食べてみてフワフワの食感とクリームに一目ぼれしました。

「これは遠くの父にも絶対食べて欲しいな」と思い、それから送り始めて 10 年以上は経ちました。

初めて食べた父の反応は「こんなフワフワの柔らかいのはうまいな！歯が悪くても食べられる、大きさも丁度いい」とすごく気に入ってくれました。気難しい父が喜んでくれたこと今でも覚えています。

父も現在 81 歳になりました。遠く離れているからこそ心配事も多くなります。

父とナボナで親子の幸せなつながりがあり、贈る人がいる喜びもあります。

ナボナで出会わせてくれてありがとう！！

東京都 満月さん 女性  
ママへ

長い間お仕事お疲れ様でした。どうもありがとうございます。

退職は、身体が楽になって嬉しい反面少し寂しくなんだか悲しい気持ちのようですね。

そんなママにとびっきりの癒しと元気をプレゼントします。

それは、私が留学している間よくママが送ってくれたナボナです。

あの時、私は子供できちんとお礼を言っていなかったかもしれません。ごめんなさい。

でも 実はあの時ママが送り続けてくれたナボナは、私にとってとても特別な品でした。

寂しいとき、辛いとき「ありがたいな、よしがんばるぞ」と涙しながら自らを鼓舞したものです。

ふわふわと優しく軽やかな甘さのナボナは、いつも私を癒して元気を与えてくれました。

今度は、私がママに寄り添うからね。いろいろなお味を頬張ってみて。きっとほっこりして元気が出るから。ママありがとう。今度又昔みたいに一緒にナボナ買いに行こうね。

神奈川県 りんこさん 女性  
父へ

「お父さんなんて大嫌い」「その反抗的な態度はなんなんだ」私たち親子は大喧嘩をしました。しばらくして口も聞かなくなりました。現在私は21歳、父53歳。

私はこれから社会に出る時期、色々な事を本当は相談したい時期です。

素直になれずにいたある日の帰り道のこと、ふと最寄りの希望ヶ丘駅にある亀屋万年堂さんが目に入り、ふとパパどらを思い出しました。

それは私が小学校6年生の時から約9年間あげ続けている、父の日の贈り物です。

パパどらは値段がお手頃かつ、見た目も可愛く、ありがたいの判から感謝の気持ちも言わずとも伝わり、私から父へのぴったりの贈り物でした。

いつものように一つ買って帰り、父に一言。「お父さん、いつもありがとう。いつもの。」と。

父は笑顔になり「ありがとうな。」と、一言。どんな時も、1年に一度、父の日があれば、亀屋万年堂さんのパパどらにて、感謝の気持ちを伝える事ができます。

千葉県 マコちゃんさん 女性  
今は亡きお父さんへ

私がまだ幼い頃のこと。父と母は家で事業をしていたので朝から晩まで忙しく働いていました。が、家計は決して裕福ではありませんでした。

シベリア抑留から帰還した父は、無口で怖い存在でした。

三人兄弟の末娘の私は、兄、姉が学校に行ってしまったあと、一人ぼっちで日がな一日テレビの子供番組を見て過ごしていました。そんなある日、父が「買い物に一緒に行くか？でもお菓子は買わないよ」と珍しく声をかけてくれました。

商店街での買い物が終わり、帰り道、ふと父は亀屋万年堂でナボナを1つ買い、「みんなには内緒だよ」と言って、なんと私の手にもたせてくれたのです。

それから十数年、思春期、反抗期と私は父を避けるようになり、大人になっても優しい娘ではありませんでした。「お父さん、ごめんね。あの時はナボナ有難う、すごく嬉しかったよ。」雅子より。

